

令和7年2月

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課

乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンの安定供給へのご協力をお願い

平素から医療行政に対して多大なるご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）については、昨年11月に武田薬品工業株式会社（武田薬品）からの出荷が停止される旨が公表されておりますが、第一三共株式会社（第一三共）及び阪大微生物病研究会（阪大微研）（販売業者：田辺三菱製薬株式会社（田辺三菱））による前倒し出荷等により、今年度中のお荷量は令和4、5年度と同程度となる見込みとなっております。

一方で、公益社団法人日本小児科医会が同会会員を対象に昨年12月末時点の供給状況等についてアンケート調査を実施した結果では、第一三共及び田辺三菱のMRワクチンについても10%を超える医療機関において注文の半数以下の入荷となっている等、4割以上の医療機関において供給不足がみられており、約2割の医療機関では予約の制限や新規予約の中止が行われている状況とされています。

定期接種の確実な実施にあたり、医療機関へ必要な数量の納入や納入時期の見通し等の適切な情報提供が重要となり、予約制限等が解消されることが必要です。

第一三共及び田辺三菱は限定出荷を行っておりますが、これは武田薬品の供給状況の変化が各社の供給状況に影響し、偏在等による安定供給に支障が生じる可能性が否定できないという理由によるものであり、十分な在庫量を確保している状況です。また、年度末の需要増に備え、第一三共及び田辺三菱からの今年の2、3月の出荷量は、3社供給であった令和4、5年度の2、3月の出荷実績を上回るペースとなる見込みです。

このため、医療機関からの過剰な数量の注文には留意は必要ですが、第一三共及び田辺三菱より割り当てられている出荷数の上限については、変更が可能な場合がありますので、適宜、第一三共及び田辺三菱にお問合せください。また、必要に応じて、厚生労働省が必要な調整を行うことも可能です。

つきましては、ご多用の折、誠に恐縮でございますが、定期接種の確実な実施のため、医療機関への適切なMRワクチンの供給及び納入時期等の情報提供にご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

【本件に関する問合せ先】

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課

E-mail: yoboseshu@mhlw.go.jp

以上